

平成24年度 第1回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	平成24年7月27日(金) 松江市役所 本館西棟4階 研修室	
委 員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(元島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成23年12月1日~平成24年3月31日	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率等の状況について ・入札方式別発注工事等の状況について ・平成24年度建設工事・業務委託入札制度の見直しについて 	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	一般	1.市道真名井神社線道路改良その4 工事 2.ホーランエンヤ記念館建設(建築 主体)工事
	指名	3.市道嫁島公園線自転車歩行者道整 備工事 4.美保関地区公園公衆便所新築(建 築)工事
	指名	5.原子力災害時の広域避難における 一時集結所等選定業務委託
	(備考)	抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、抽出を行った。 ・契約金額の高い案件。 ・落札率が高い又は低い案件。 ・入札参加業者数が少ない案件。
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 又は勧告の内容	なし	

参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	市道真名井神社線道路改良その4工事		
工期	平成24年3月8日～平成24年10月26日		
工事種別	土木一式工事		
工事概要	<p>施工延長 L = 358.6m 土工 掘削、床掘 V = 720 m³ 盛土、埋戻 V = 1,520 m³ 法面工 人工張芝 A = 80 m² 緑石工 歩車道境界ブロック L = 745m 地先境界ブロック L = 646m 道路植栽工 植栽(クロマツ) N = 40本 排水構造物工 自由勾配側溝 B 300、400 × H 1100、1200 L = 32.8m 排水溝 250、400 L = 15m ヒューム管 300、400、700 L = 63m 集水桝口 500～1300 N = 8箇所 舗装工 真砂土舗装(t = 3cm) A = 863 m² 路盤工(t = 10cm) A = 863 m² 下層路盤工(t = 15cm) A = 3,070 m²</p>		
入札参加資格	<p>営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 工事実績 平成9年度以降に完成した1契約で500万円以上の土木一式工事の施工実績があること。 配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成24年2月8日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	20社		
入札参加業者数	20社	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	39,979,800円		
最低制限価格(税込)	33,774,300円		
契約金額(税込)	33,774,300円(落札率：84.48%)		
入札の経緯及び結果	<p>平成24年2月29日 開札 最低価格者(最低制限価格を下回った者を除く)： (有)エムケイ技建 平成24年3月2日 事後審査の結果、(有)エムケイ技建に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。)</p>		

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	ホーランエンヤ記念館建設(建築主体)工事		
工期	平成24年3月31日～平成24年10月19日		
工事種別	建築一式工事		
工事概要	<p>ホーランエンヤ記念館本館の改修工事、権伝馬船船倉新築工事及び屋外付帯施設工事一式</p> <p>1) 本館改修 展示A棟 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 238.78 m² 展示B棟 木造平屋建 延床面積 改修部 118.58 m² 増築部 39.78 m²</p> <p>2) 権伝馬船船倉新築 木造平屋建 延床面積 97.20 m²</p> <p>3) アプローチ棟新築 アプローチA棟 木造平屋建 延床面積 21.60 m² アプローチB棟 木造平屋建 延床面積 19.44 m²</p>		
入札参加資格	<p>資格及び格付、総合点数 平成23・24年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、建築一式工事の総合点数が741点以上であること(松江市の格付B以上に相当)。</p> <p>営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>工事実績 平成9年度以降に完成した1契約で2,500万円以上の建築一式工事の施工実績があること。</p> <p>配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由:「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>経緯:平成24年1月24日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	6社		
入札参加業者数	5社	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	55,820,100円		
調査基準価格(税込)	48,214,950円		
契約金額(税込)	55,125,000円(落札率:98.75%)		
入札の経緯及び結果	<p>平成24年3月27日 開札 最低価格者:(株)大前組</p> <p>平成24年3月27日 事後審査の結果、(株)大前組に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。)</p>		

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	市道嫁島公園線自転車歩行者道整備工事
工期	平成23年12月14日～平成24年3月23日
工事種別	舗装工事
工事概要	<p>施工延長 L = 310m 幅員 W = 2.9～3.1m 表層工 A = 897 m² 路肩コンクリート A = 607 m² 転落防止柵 L = 293m 地先境界ブロック L = 293m 車止め・路面表示シート 1式</p>
工事のランク	なし
指名業者数	11社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有（継続的なリース契約を含む）し、恒常的にオペレーターが在籍するという条件を満たす11社を全者選定した。</p>
入札参加業者数	11社
予定価格（税込）	14,152,950円
最低制限価格（税込）	11,782,050円
契約金額（税込）	13,125,000円（落札率：92.74%）
入札の経緯及び結果	<p>平成23年12月7日 開札 まるなか建設㈱に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	美保関地区公園公衆便所新築（建築）工事
工期	平成23年12月14日～平成24年3月23日
工事種別	建築一式工事
工事概要	木造平屋建延床面積19.38㎡の新築工事 男子便所 小便器1、洋式便器1、手洗器1 女子便所 洋式便器1、手洗器1 多目的便所 1室 （洋式便器1、ベビーシート、ベビーチェア、手洗器等）
工事のランク	建築一式工事 B等級又はC等級
指名業者数	15社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、建築一式工事登録のある市内業者48社のうち、15社をローテーションにより選定した。
入札参加業者数	4社（11社辞退）
予定価格（税込）	6,728,400円
最低制限価格（税込）	5,783,925円
契約金額（税込）	6,615,000円（落札率：98.31%）
入札の経緯及び結果	平成23年12月12日 開札 ㈱紅花組に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	原子力災害時の広域避難における一時集結所等選定業務委託
委託期間	平成24年1月18日～平成24年3月16日
業務種別	その他業務
業務概要	<p>原子力災害時に市域外に広域避難を実施する際、避難住民を参集するための集結所（一時集結所・広域避難集結所）の選定案を検討するもの。</p> <p>(1) 一時集結所・広域避難集結所の選定 (2) 一時集結所・広域避難集結所の整理 (3) 一時集結所・広域避難集結所マップ作成</p>
業務のランク	なし
指名業者数	12社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、建設部門の技術士またはRCCMが在籍することを条件として、17社の中から12社をローテーションにより選定した。
入札参加業者数	12社
契約金額(税込)	5,880,000円
入札の経緯及び結果	平成24年1月12日 開札 (株)アテナに落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

【報告事項等について】

(契約検査課長挨拶)

- この委員会は平成20年に立ち上げ、5年目を迎えている。今年度は委員の改任に当たり、継続審議事項もあることから、委員の皆様におかれては、再任のお願いをさせていただいたところ、ご快諾をいただき大変ありがたく思っている。要綱にもあるとおり、本委員会の設置目的は、本市における建設工事に係る入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性と公正な競争を確保するというので、委員の皆様には日々ご尽力いただいております。重ねて感謝申し上げます。
- 今回は平成23年の12月から平成24年の3月までの70件の中から案件を5件抽出していただいております。これらについて審議していただきたいと思っている。平成23年度は年間を通じて350件の発注を行ったが、今期は全体の5分の1程度となっており、金額では年間通じて約65億円のうち、この4ヶ月では6億7千万円程度ということになっている。今回は年間を通じた落札率や事業種別毎の状況、近年の制度改正の変遷もあわせて資料を配布しているので、そういうことも含めて忌憚の無いご意見を頂戴したい。

1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

[建設工事]

- 平成23年度年間の落札率は、調査基準価格等を設定しないものを除いて91.98%と、前年度と比較して2.22ポイント上昇している。上昇理由としては、8月から調査基準価格及び最低制限価格の算出方法の見直しを行い、基準価格等を引き上げたことが一因と思われる。
- 月別入札件数と落札率の推移について、12月から3月までの入札件数は68件で、前年同期137件から半減している。これは発注時期の前倒しによること、また、年間件数についても前年度比較で2割減、81件減となっていることによるものである。12月から2月までの落札率は、年平均と同じ92%台で推移しているが、3月は落札率が下がっている。3月は例年通り予算上上年度へ繰り越す事業が多く、工期が比較的長く設定されている工事が多いため、事業者の受注意欲が高かったためと推測される。
- 工種別の落札率について、工種別にみても年平均と同様に落札率が上昇しているものが多いと見られる。主なものとして、建築一式工事は特別共同企業体への発注工事2件が落札率を押し上げている。鋼構造物工事の1件は北工場煙突封鎖工事である。舗装工事は、市内業者全者指名により入札しており、平成23年度からは金額に関わらず全件電子入札を実施している。落札率としては平成21年度に比べれば若干下がっている。平成22年度の落札率が低いのは、松江市営陸上競技場競争路他改修工事が全体の落札率を引き下げているからである。この工事は陸上競技場施工の専門技術を有するもので、県外業者を含めて入札実施したものである。内装工事の1件は、ホーランエンヤ記念館展示工事である。電気通信工事は、平成22年度、平成23年度ともに製品比率の高い機器取替え工事で低入札調査基準価格等を設定しない工事であり、落札率が特に低くなっている。
- 価格帯別の落札率推移については、前年度と比較して2千万円未満までの低価格帯では落札率が低く、2千万円以上では落札率が高い傾向にある。2千万円未満で落札率が低下したのは、主に土木工事であり、低価格の工事において競争性が高まっているものと推測される。主な工事について、5千万円から6千万円までの価格帯は、ホーランエンヤ記念館の建築・展示工事などである。7千万円から8千万円までは、港湾、舗装、管工事などである。1億5千万円以上は特別共同企業体への発注工事である。8千万円から9千万円、1億円から1億5千万円までのところは、落札率が若干低くなっているが、低入札価格調査を実施した案件が含まれている。
- 登録工事業者の分類表について、平成24年度の市内登録業者数は、昨年度8月時点と比べて40社増、市外登録業者数は3社減で、延べ合計2,412社となっている。

[業務委託]

- 平成23年度年間の平均落札率は90.90%で、前年度と比較して0.96ポイント上昇している。
- 月別入札件数と落札率の推移について、12月は低入札調査案件が1件あり、落札率を引き下げている。1月は、今回抽出案件になっている原子力関係の特殊な業務等があったため、落札率が高くなったものと推測する。
- 業種別の落札率について、例年と同様に、測量業務は落札率が高い傾向にある。土木設計業務、その他業務は上昇傾向にあり、建築設計業務、地質調査業務、補償業務はやや低下傾向にある。建築設計業務は低入札調査を行った業務が3件あり、落札率が低くなっている。

・価格帯別の落札率推移について、5百万円未満、また5百万円以上1千万円未満のところは前年度に比べて低くなっており、1千万円から2千万円まで、また3千万円から4千万円までの価格帯は落札率が上昇している。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

(報告要旨)

・例年のとおり、一般競争入札の落札率が一番低く、随意契約が一番高くなっている。一般競争入札の平均落札率は93.7%で、工種別平均落札率のうち建築工事は今期97%と高くなっている。今回抽出案件となっているホーランエンヤ記念館建設(建築主体)工事のほか、ホーランエンヤ記念館建設(機械設備)工事等ホーランエンヤ記念館建設関係の工事が落札率を引き上げている状況である。同記念館の電気工事や展示工事など他工事との調整が必要で、かつ工期が比較的短い工事のため、落札率が高めとなっているのではないかと推測する。

質問及び意見

回答

全体的にみると落札率が上昇気味という分析でよいか。

はい。

確認になるが、工種別落札率のうち、建築工事について、平成22年度に比べれば若干上がっているが、その要因は。

特別共同企業体発注で金額の高い工事で、落札率が高くなっており、全体を引き上げている。

例えばどのような工事があったか。

「松江市立津田小学校屋内運動場建設(建築)工事」や「松江市立宍道中学校校舎建設(建築)工事」などがある。

確認になるが、全体延べ登録工事業者数が平成23年度8月比37社増となっているが、これは例えば競争単位が増えたということで競争性が上がる要因が加わったという理解でよろしいか。

特に土木工事格付Dでは10社増えており、発注の多い工種で登録業者が増えたということはそれだけ競争性が高まるものと考えている。

【審議事項について】

1. 一般競争入札【市道真名井神社線道路改良その4工事】

(説明のポイント)

- ・現況道路を拡幅し、中央に歩道、歩道の両側に車道を整備する工事で、道路植栽工、排水構造物工、舗装工を併せて行うものである。
- ・工期は平成24年3月8日から平成24年10月26日までで現在施工途中である。
- ・入札参加資格は、市内に主たる営業所を有し、平成9年度以降に完成した1契約で5百万円以上の土木一式工事の施工実績があることとしている。
- ・配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できることを条件としている。
- ・入札参加資格確認申請数は20社、入札参加者数も20社である。
- ・入札参加者20社のうち、最低制限価格を下回った業者が15社あり、これらは失格とした。
- ・契約金額は33,774,300円、落札率は84.48%である。
- ・最低制限価格を下回った社が全体20社のうち15社もあったこと、また、落札率が低かった理由としては、本件が年度繰越の工事で、また、実質4月から着手できる工事であり、事業者としては手持ち工事が少ないため、非常に人気が高く競争性が高まったものと推察している。入札参加業者が20社と非常に多かったこともこれを裏付けている。また、工事の場所も周囲に民家等が無く、新設工事でもあり一般車両の整理等も必要がないという条件の良さも競争性が高まる要因であったのではないかと考えている。これらの状況から受注意欲が高まり、各社が競い合った結果として、失格者が多くなったものと推察する。

質問及び意見

回答

<p>最低制限価格適用工事であることは入札公告で示されていると思うが、示されていれば各社最低制限価格を下回らないように積算してくると思うが。</p> <p>工事内訳書は全件で提出されていると思うが、松江市の内訳書と落札者の内訳書が全く一致しているという状況は考えられないか。</p> <p>落札率が 84.48%とあるが、これは本件に限って言えば、想定しうる最も低い落札率であるということの間違いないか。</p> <p>先ほどの説明から、条件のうち工期の設定で、特に時期をずらすことで一層参加意欲を高めることができるように感じられる。本件はたまたま 4 月からの着手で低い応札となったということだが、この取扱いは一般的にはやはり難しいのか。</p> <p>案件 2 で質問しようと思ったが、本件は工期が 4 月着手で競争が働いたということだったが、案件 2 は工期がほぼ同じ設定なのに、むしろ予定価格を超過している社の方が多くなっている。この状況はどのように分析しているか。先ほどの説明はこの案件には当てはまるが、案件 2 には当てはまらないのか。</p> <p>本件はその 4 工事だが、その 1 工事からその 3 工事はどうような工事が。</p> <p>内容が異なるので、参加業者や落札業者は異なるということか。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということによるしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>各事業者は当然最低制限価格を下回らないように積算を行うが、その結果はそれぞれの積算能力によって異なってくる。松江市の場合、以前は請負金額 1,000 万円以上の工事について、予定価格や入札希望価格を事前に公表していたこともあったが、現在はともに事前公表は行わず、予定価格のみ事後公表しているため、このような結果になったと考えている。</p> <p>事後審査の際に双方の内訳書を比較しており、合計額は一致するが、個別の単価や項目では異なっていることを確認している。</p> <p>そうです。</p> <p>本件は年度繰越工事であり、何らかの理由で年度を繰り越してでもやらないといけない状況があれば、このように工事発注することもあるが、会計年度に合わせて年度内施工、年度内竣工を基本としているため、一般的に行う事は難しい。補助金申請から決定まで時間がかかり 4、5 月には発注工事が少なくなる状況もわかっているが、実際に 4、5 月に向けて大きい工事を発注することは難しい。</p> <p>事業者の受注意欲には、工期だけでなく、工事内容や工事場所など様々な要素が絡み合って結びついているものと考えている。難しい工事を赤字まで出して行うということにはならないので、詳細は案件 2 のところで説明する。</p> <p>同じ場所で、部分的に内容の異なる工事を行っている。</p> <p>はい。</p>
--	--

2. 一般競争入札【ホーランエンヤ記念館建設（建築主体）工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、ホーランエンヤ記念館本館の改修工事、権伝馬船船倉新築工事及び屋外付帯施設工事である。本館は、既存元病院建物 238.78 m²を改修、また、木造平屋建 118.58 m²を改修、あわせて 39.78 m²を増築する。本記念館の関連工事として、電気設備工事、機械設備工事を別途発注している。
- ・入札参加資格は、建築一式工事の総合点数が 741 点以上、格付 B 以上に相当する市内業者で、平成 9 年度以降に完

成した1契約で2千5百万円以上の建築一式工事の施工実績があることとしている。

- ・配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できることを条件としている。
- ・入札参加資格確認申請数は6社、入札参加者数は5社である。
- ・契約金額は55,125,000円、落札率は98.75%である。
- ・建築一式工事の金額別発注状況をまとめたところ、4,000万円以上の工事は平成23年度全体で11件あり、平均落札率は93.93%となっている。したがって、本件の落札率が高めであるとは言える。落札率が高い要因について考えると、先ほど案件1の審議の際指摘があったとおり、工期の面からすれば本来であれば受注意欲が高く、もっと落札率が下がるのではないかということだが、この工事は既存建築物の改修を主体としており、一般の工事より手間がかかり難易度が高いことが言える。また、工事場所も街中かつ観光地周辺ということで、防塵や防音など隣接地に注意を払わなければならない状況から高めの応札となっているのではないかと推測する。また、工期に比べ競争が少ないのではないかという指摘があったが、4,000万円以上の建築一式工事について、平成23年度平均参加者数は3.5社となっている。本件は5社参加しているということで、押並べて考えるならば、受注意欲は他と比べれば若干高かったのではないかと考えている。
- ・全体工事の金額が高いのではないかという点については、解体して新築するよりは今回の改修工事の方が安く、無駄を無くして安くコスト低減を図った上での工事となっていると考えている。

質問及び意見

回答

案件1の際の質問に対して、先ほどの説明でよろしいか。

(全委員、了承。)

本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。

(全委員、了承。)

3. 指名競争入札【市道嫁島公園線自転車歩行者道整備工事】

(説明のポイント)

- ・新縄手橋から大桁橋までの区間の山居川の河川土手を舗装整備して、歩行者の通行の安全確保をするために整備を行った工事である。
- ・施工延長310m、幅員2.9から3.1m、舗装897㎡の工事で、その他転落防止柵の設置、境界ブロックの設置などを行ったものである。
- ・舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有し、かつ恒常的にオペレーターが在籍するという条件を満たす11社を全者選定した。
- ・入札参加者数は11社である。
- ・契約金額は13,125,000円、落札率は92.74%である。
- ・松江市でも、自転車通行環境整備地域として、JR松江駅並びにJR乃木駅周辺の区間において、国県を含めて通行環境の整備を行っている。
- ・落札率については、平成23年度の舗装工事の平均落札率が95.25%なので、若干低目と言える。その要因としては、河川護岸のため通過交通が無いこと、また、与えられた幅員に全て舗装ができるため、施工性が良いことなどが考えられる。

質問及び意見

回答

この工事は河川管理道に道路をつけたという形か。

はい。基本的には底地は県河川で、その上に市道として確認、認定している。

アスファルトフィニッシャーという機械は、舗装工事

舗装工事を行うには必要な機械である。

<p>を行う事業者にとっては、特殊であり保有していないものか。</p> <p>市内にはこの機械を保有している事業者は 11 社しかないということか。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>はい。</p>
<p>4．指名競争入札【美保関地区公園公衆便所新築（建築）工事】</p>	
<p>(説明のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、美保関漁港東側道路沿いの旅館跡地を使い、観光客や地元住民の憩いの場を作るため、172 m²の公園を整備することとし、その一環として公衆便所を新築した工事である。 ・建築一式工事登録のある格付B等級又はC等級の市内業者 48 社から、15 社をローテーションで選定した。 ・入札参加者数は 4 社である。 ・契約金額は 6,615,000 円、落札率は 98.31% である。 ・建築一式工事の金額別発注状況をまとめたところ、1,000 万円未満の工事は平成 23 年度全体で 14 件あり、平均落札率は 94.39% となっている。本件の落札率は、指摘の通り高めということが言える。その理由については、工事場所が美保関町のかなり東側で市街地から距離があり、資材等運搬の経費がかかること、他の公園工事との調整が必要であること、冬場の時季的な条件制約、また、工期も年度内施工であり限られていること、などが推測される。また、参加者数については、1,000 万円未満の工事の平成 23 年度平均が 4.1 社なので、平均的な競争率は保たれているのではないかと考えている。 	
<p>質 問 及 び 意 見</p>	<p>回 答</p>
<p>本工事は設計金額が 1,000 万円未満だが、予定価格は事前に示されているか。</p> <p>入札希望価格の算出方法は事業者には伝わっているか。</p> <p>予定価格を超えた金額を応札している社があるが、これは入札希望価格を知っていながら予定価格を読み間違えたということか。このような事例は他にもあるのか。</p> <p>応札した 4 社はすべて美保関町の事業者か。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>設計金額 1,000 万円未満の工事については、入札希望価格を事前に公表している。</p> <p>算出方法は事業者には示していないが、年度後半になると統計的に類推することができるかもしれない。</p> <p>そのように考える。事例は他にもある。</p> <p>応札者のうち、美保関町の事業者は 1 社のみである。美保関町の事業者でも辞退している社もある。</p>
<p>5．指名競争入札【原子力災害時の広域避難における一時集結所等選定業務委託】</p>	

(説明のポイント)

- ・この業務委託は、原子力災害が発生した場合、市域外に広域避難を実施する際、避難住民を一時的に参集するための集結所の選定案を検討するものである。
- ・指名選定の考え方は、土木関係建設コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、建設部門の技術士またはR C C Mが在籍することを条件に、これらを満たす 17 社からローテーションにより 12 社を指名した。入札参加業者は 12 社全者である。
- ・契約金額は 5,880,000 円である。
- ・本業務が島根県に歩掛が公表されていない業務であり、事前に 3 社から歩掛見積を徴し、これに基づいて積算をして発注したもので、各社において設計単価が読みにくかったのではないかと推察している。

質 問 及 び 意 見

回 答

先ほど説明にあったが、やはり積算が難しいということになるか。

公表された単価がないので、難しかったのではないかと考える。

マップの地区割りは何地区分あるか。

29 公民館区のうち、鹿島地区を除く 28 地区について、この度業務委託を行った。

他の自治体でもこのような業務は行われていないので、歩掛がないということか。

特殊な業務については、歩掛がないものがある。こういう業務については見積りにより決定することになっている。本件のような業務は一般的にあまりないので、積算が難しかったのではないかと考えている。

他県などでもあまり事例はないか。

はい。

本案件は適切に手続きを行われているということでしょうか。

(全委員、了承。)

【報告事項】

1. 平成 24 年度建設工事・業務委託入札制度の見直しについて

- ・改正の 1 点目は、総合評価方式である。従来請負金額 1,000 万円以上の工事の中から総合評価方式に適する工事を選定して実施していたが、今年度より原則請負金額 4,000 万円以上の工事は総合評価方式を適用することとした。
- ・2 点目は、低価格入札制度である。建設コンサルタント業務について、従来請負金額 50 万円以上の入札案件は低入札価格制度を適用していたが、設計額 500 万円未満の業務委託については、最低制限価格制度を適用し、速やかに落札決定を行えるよう改正した。
- ・最後に 3 点目は、電子入札についてである。今年度より、塗装、防水、法面工事についても金額に関わらず電子入札で開札を行うこととした。なお、今秋には、競争入札に付するコンサルタント業務について、全面的に電子入札を導入する方向で調整しているため、報告する。

2. その他

- ・継続審議となっている事項について、一定の総括・まとめをした方が良いのではないかと意見を頂戴した。次回を目途に「辞退が多い案件」、「JV への発注案件」、「全者指名の舗装工事案件」の 3 つについて、資料を作成し、示したいと考えているので、報告する。

【その他】

〔次回開催予定について〕

- ・抽出対象期間は平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 7 月 31 日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、上田委員とする。
- ・平成 24 年 10 月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上